

武雄市十佐賀大学連携 公開講座

男女がのびのびと暮らせる

まちづくりを考える

女性と男性が、機会や役割を共に分かち合い、伸びやかに活躍できるような暮らしやまちづくりに向けて何が必要かを一緒に考えてみませんか。

第1回 9月9日(金)

日本近代洋画のなかのジェンダー

美術作品のなかで、女性・男性がどのように表象されているかに注目し、社会的・文化的な性のありようについて考えます。

九州に縁のある近代の洋画家たち、黒田清輝、岡田三郎助、百武兼行らの作品をできるだけ多く採り上げます。

佐賀大学 文化教育学部
教授 吉住磨子氏
専門/西洋近世美術史



第2回 9月20日(火)

受講者募集

男女共同参画は、武雄市を改革するか?

欧米では、子育ての喜びを知り始めた男性が増えています。オバマ米国大統領は、近年のアメリカ経済不況により、労働力の主力が男性から女性へ移り、将来、女性が家計の主たる稼ぎ手となる可能性を予測しています。

日本においても、男性が「主夫」、女性が主たる稼ぎ手の形が、少しずつ受容されつつあります。仕事、家事、育児の担い手をめぐって、日本、欧米、アジアを比較し、受講者同士の相互討論も交えながら武雄市の事情を考えます。

放送大学 佐賀学習センター 客員教授 朱雀成子氏
専門/英文学(シェイクスピア演劇)・ジェンダー学(女性学)



第3回 10月4日(火)

いまどきの〈結婚〉模様

—する理由、しない理由、してない理由—

晩婚化/非婚化、さらには少子化が問題視される一方、昨今では「婚活」に励む人々が注目されます。非正規雇用による低収入のため「結婚できない男性」や、一人で子どもを産む選択をして「結婚しない女性」が話題にもなります。

家族のあり方の歴史的な変遷も振り返りながら、日本社会における〈結婚〉の現在形を探ります。その中で、災害(震災)と女性・結婚・家族の関係についても一言したいと思っています。



佐賀大学 文化教育学部
准教授 吉岡剛彦氏
専門/法哲学(マイノリティの人権)

問 つながる部 男女参画課
☎ (23)9141
Fax (23)3816

3回とも共通

- ◆場所 武雄市役所 1階会議室
- ◆時間 19時30分~21時
- ◆参加費 無料
- ◆定員 先着各50人

※1回のみ受講可

※全3回の講座をすべて受講された人には、佐賀大学学長名の「修了証書」を授与します。

申込方法

事前に電話かFAXで、①講座名「男女共同参画公開講座」、②希望する講座(開催日)、③受講者名、④連絡先をご連絡ください。ただし、定員に空きがある場合は、当日参加も可能です。